

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事業の概要	事務事業名	クリーンセンター施設管理事業	担当部	市民生活部
	会計区分	一般会計	担当課	ごみ政策課
	事業期間	平成26年度以前 ~ 平成30年度まで	担当係	ごみ減量推進係
	基本施策・展開方向	1 安全・環境 5 ごみ対策 4 ごみの安定処理を推進します		
	予算区分	款 4 項 2 目 3 大 3 中 1		
	根拠法令・個別計画	第6次小牧市総合計画		
	目的	何・誰を対象に	市内から排出されるし尿及び浄化槽汚泥	
		どの様な状態にするのか	クリーンセンターにおいて安定的に処理する	
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容 平成26年度までは、東田中のクリーンセンターでし尿を、新小木の浄化槽汚泥処理施設で浄化槽汚泥を処理していたが、クリーンセンターの大規模改修を行い、平成27年度からはクリーンセンターで浄化槽汚泥も合わせて処理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター施設管理委託料 クリーンセンターの運転管理、施設保全業務委託 ○処理量・・・し尿:3283.03t、浄化槽汚泥:19422.40t ・汚泥処分委託料 クリーンセンターにおいて、し尿等を含水率70%程度まで脱水処理した際の汚泥処分にかかる委託料 ○脱水汚泥排出量・・・918.71t ・光熱水費等(電気、水道、下水道使用料) <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター施設管理委託料・・・51,710,400円(支出ベース) ・汚泥処分委託料・・・45,786,438円(支出ベース) ・光熱水費(電気、水道、下水道)・・・10,617,867円(支出ベース) ・修繕料・・・7,322,400円(支出ベース) ・ほか印刷製本費等・・・1,224,500円(支出ベース) <p>◆29年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター施設管理委託料・・・51,732,000円(当初予算ベース) ・汚泥処分委託料・・・53,800,000円(当初予算ベース) ・光熱水費(電気、水道、下水道)・・・17,070,000円(当初予算ベース) ・修繕料・・・26,000,000円(当初予算ベース) ・ほか印刷製本費等・・・13,599,000円(当初予算ベース) 		
	受益者負担	無		

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円		110,597	116,662	162,201	
		正職員	従事者数	人		0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	0	1,407	1,407	1,407
		その他職員	従事者数	人		0.10	0.10	0.10
			人件費	千円		150	150	150
		費用合計	千円	0	112,154	118,219	163,758	
	対前年比	%		#DIV/0!	105.4	138.5		
財源	一般財源	千円	0	112,154	118,219	163,758		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	し尿処理量	t	目標	—	—	—
実績				3,979	3,678	3,283	
	浄化槽汚泥処理量	t	目標	—	—	—	—
			実績	16,926	18,376	19,422	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	し尿処理量	t	目標	—	—	—	—
実績			3,979	3,678	3,283		
	浄化槽汚泥処理量	t	目標	—	—	—	—
			実績	16,926	18,376	19,422	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	平成27年度から新施設として移動し、2年が経過したが、安定的にし尿及び浄化槽汚泥の処理を行っている。県外の施設に処理委託していた脱水汚泥については、同じく平成27年度から新たに稼働しているごみ処理施設であるエコルセンターの安定稼働が確認され、また試験焼却の結果も問題がないと判断されたことから、平成29年度からエコルセンターで熔融処理することとなった。					
		事業実施における課題	施設管理委託については、施設及び各種設備の瑕疵担保期間内であったこともあり、改修を行ったプラントメーカーと単年度契約で行ってきたが、費用積算の妥当性が図りにくい。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	平成29年度も引き続き、施設を適正に管理し、し尿及び浄化槽汚泥の安定処理に努める。また、施設の運転管理について、平成30年度から平成34年度までの長期包括施設管理委託に切り替えるものとし、平成29年度にプロポーザルにより事業者を選定し、委託契約を締結する。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	未確定 (1,257千円以上)	千円	予算区分	13	節	節
	判定理由・削減内容	施設管理委託(H29契約額:58,285千円(当初予算から変更))にあつては、平成29年度にプロポーザルにより業者及び契約額を決定するが、平成30年度から5年間、ユーティリティの調達(光熱水費等)や設備等の補修修繕(修繕料)までを含めた長期包括施設管理委託に切り替えることで、民間の創意工夫(薬剤等における調達の柔軟化、大口購入による単価引き下げ、補修(各種設備における部品交換等)の必要性を見極めた上での保守点検との一体実施)による費用削減を図るものとする。 (参考) クリーンセンター長期包括施設管理委託に係る債務負担行為支出予定額520,000千円(平成30年度から平成34年度までの5年間)						
	30年度以降の実施内容	クリーンセンターの施設管理委託を長期包括施設管理委託に切り替えることで、維持管理の質を高めながら、費用削減を図る。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、民間事業者のノウハウ活用等により経費節減に努められたい。